平成 25 年 12 月 12 日

各 位

上場会社名　　株式会社　デジタルデザイン
代表者名　　代表取締役社長　　寺井　和彦
（JASDAQ 市場　銘柄コード：4764）

問い合せ先　　業務推進グループ　桐山　雅志

TEL：03－5259－5300

平成 26 年 1 月期第3四半期連結業績と前年同期実績との差異に関するお知らせ

平成 26 年 1 月期第3四半期連結累計期間（平成 25 年 2 月 1 日～平成 25 年 10 月 31 日）の当社連結業績につきまして、前年同期（平成 24 年 2 月 1 日～平成 24 年 10 月 31 日）の実績値に対して、下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 1 月期第3四半期連結累計期間（平成 25 年 2 月 1 日～平成 25 年 10 月 31 日）の連結業績と前年同期実績値との差異

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
平成 25 年 1 月期第3四半期（前年同期）（A）	245	28	32	△254	△94.66
平成 26 年 1 月期第3四半期 （B）	98	△33	△33	△35	△13.26
増減額（B－A）	△146	△61	△65	219	－
増減率	△59.7%	－	－	－	－

注：当社は平成 25 年８月１日付で株式１株につき 100 株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2020 年オリンピック東京開催決定による景況感回復の気配、継続する円安による製造業の堅調ぶり等、明るい材料が散見され、一部で景気回復の兆しがみられました。

しかしながら、実体経済への影響は限定的なものにとどまっており、景気の先行きには注視が必要な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは引き続き、モデリング技術を活用したシステム開発サービス、自社ネットワーク製品を活用したシステム開発サービス及びデジタル画像、映像に関連する処理技術のソリューションの販売を推進してまいりました。

集中すべき営業案件のチームマネージメントの強化に加え製品の機能強化をしてまいりましたが、開発案件の遅延及び新機能のお客様評価に時間がかかり、当第3四半期連結会計期間におきましては、売上高 98,640 千円（前連結会計年度比 59.7%減）、営業損失 33,264 千円（前年同期は営業利益 28,603 千円）、経常損失 33,054 千円（前年同期は経常利益 32,568 千円）、四半期純損失 35,674 千円（前年同期は四半期純損失 254,732 千円）となりました。

以上